

参考資料 1

平成29年8月7日（月）

第1回佐倉市子育て支援推進委員会

●計画の中間見直しのために考慮すべき要素

「量の見込み」に影響を及ぼす要素

- ・25歳～44歳の女性就業率の上昇
- ・自然増減
- ・社会増減
- ・保育施設への新規申込者の増減（保育ニーズの量）

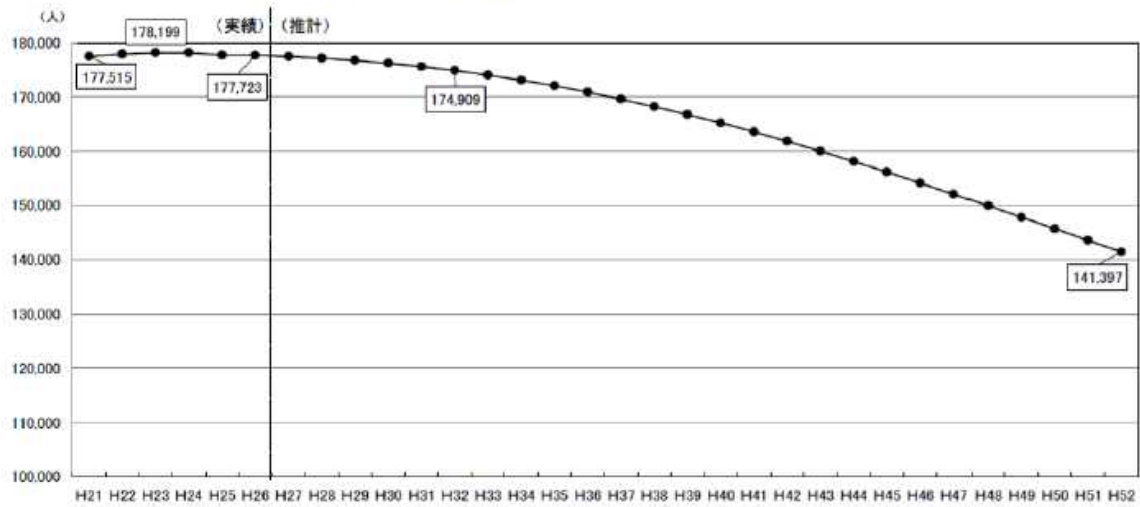
●佐倉市の人口推計（平成26年11月）

3-2 将来人口の見通し

(1)基準ケース

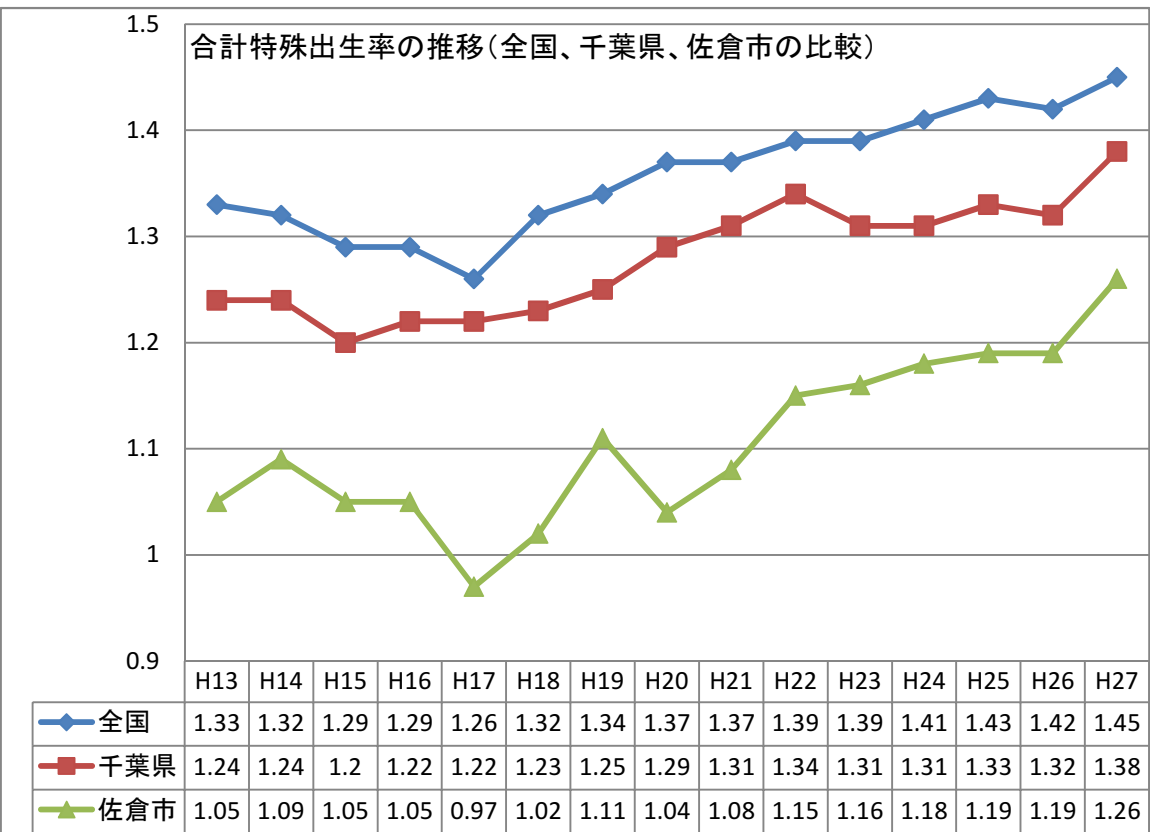
- ・ 佐倉市の将来人口は、平成 26 年 177,723 人から、平成 32 年には 175,000 人(▲2,800 人)、平成 52 年には 141,000 人(▲36,700 人)、平成 72 年には 102,000 人(▲75,800 人)程度が見込まれます。
- ・ 推計では、本市の人口は平成 23 年の 178,199 人をピークに減少に転じており、平成 26 年から 32 年までの6年間で、▲2,814 人(総人口に対する割合は▲1.58%)減少することが見込まれます。
- ・ なお、平成 52 年には、141,397 人まで減少する推計となっています。

図 10-佐倉市人口推計による将来人口推計結果



出典：佐倉市人口推計(平成 26 年 11 月)

●合計特殊出生率



●自然増減、社会増減

「人口の増減」

年度	増減
H26	-312人
H27	-470人
H28	-458人

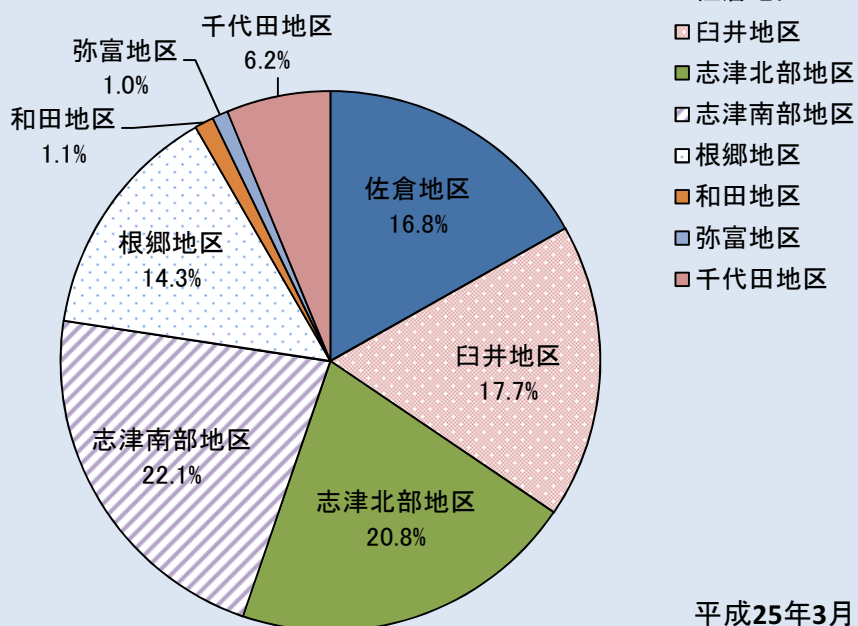
	自然増(出生)		自然減(死亡)		差引
自然増減	H26	1,162	H26	1,559	-397
	H27	1,150	H27	1,686	-536
	H28	992	H28	1,617	-625

	社会増(転入等)		社会減(転出等)		差引
社会増減	H26	6,640	H26	6,555	85
	H27	6,787	H27	6,721	66
	H28	6,552	H28	6,385	167

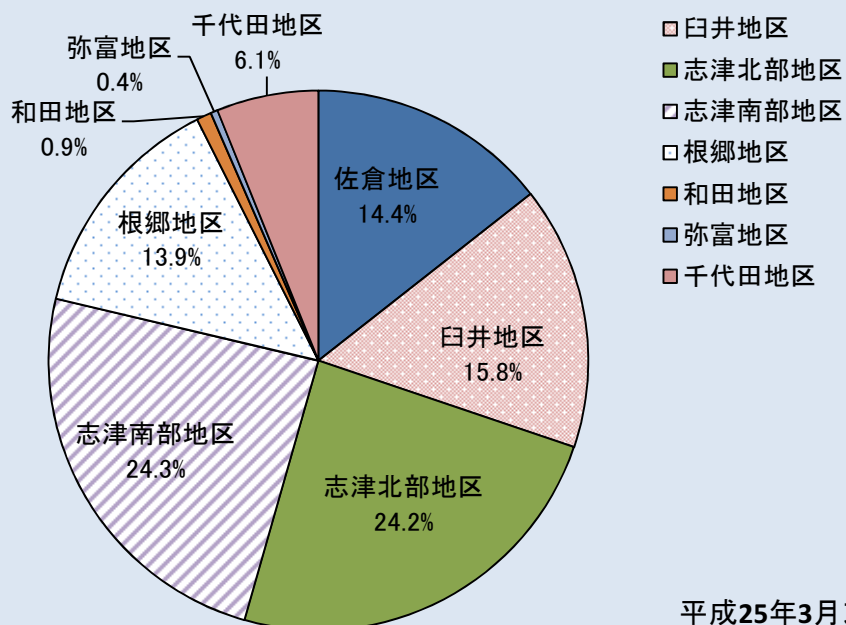
	全年齡合計	就学前人口	割合
佐倉地区	29,538	1,136	3.8%
臼井地区	31,023	1,245	4.0%
志津北部地区	36,538	1,911	5.2%
志津南部地区	38,889	1,913	4.9%
根郷地区	25,079	1,095	4.4%
和田地区	2,007	71	3.5%
弥富地区	1,677	33	2.0%
千代田地区	10,939	481	4.4%

人口分布（平成25年3月）

佐倉市の人口分布（地区別）



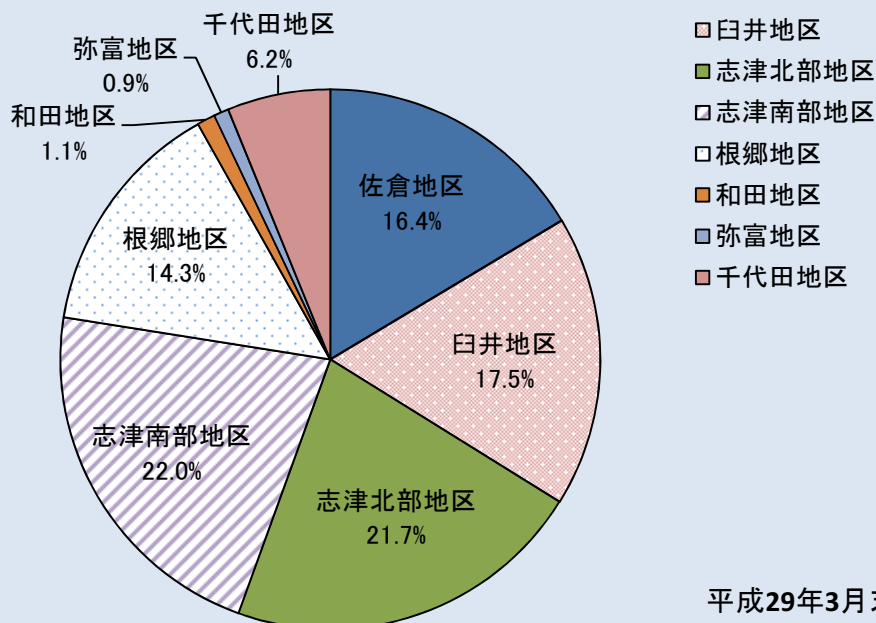
佐倉市の就学前人口分布（地区別）



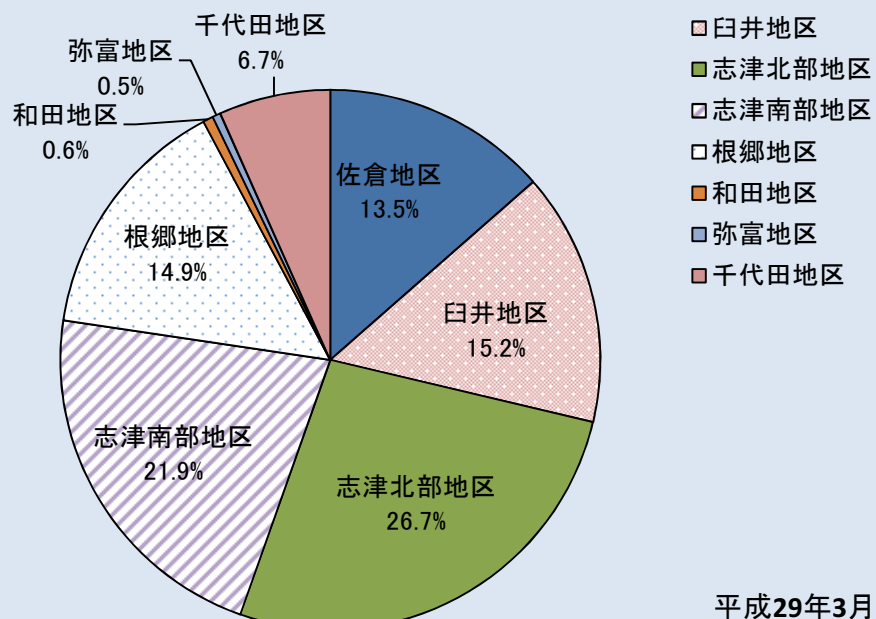
	全年齡人口	就学前人口	割合
佐倉地区	28,933	995	3.4%
臼井地区	30,809	1,115	3.6%
志津北部地区	38,279	1,964	5.1%
志津南部地区	38,799	1,612	4.2%
根郷地区	25,317	1,093	4.3%
和田地区	1,913	45	2.4%
弥富地区	1,581	36	2.3%
千代田地区	10,887	491	4.5%

人口分布（平成29年3月）

佐倉市の人口分布(地区別)



佐倉市の就学前人口分布(地区別)



●女性就業率

【佐倉市】

	15歳以上女性人口	就業者	就業率
平成22年国勢調査	77,510	33,173	42.80%
平成27年国勢調査	78,182	33,461	42.80%

【千葉県】

	15歳以上女性人口	就業者	就業率
平成22年国勢調査	2,691,235	1,187,737	44.13%
平成27年国勢調査	2,715,156	1,220,767	44.96%

(データ: 国勢調査より)

「統計結果」

・佐倉市における、15歳以上の女性就業率は、5年前と比べて変化が無い。

「統計結果からの見直し」

・国の方針は、「平成34年度末までの5年間で女性就業率80%に対応できる保育の受け皿を整備すること」とされた(子育て安心プラン)。



しかしながら、現時点で、女性就業率に変化が無いことから、「量の見込み」に反映することは不要と判断する。

● 保育施設への新規申込者数

	就学前人口 (住基)	保育施設等 新規申込者	割合
平成23年度	9,369	902	9.63%
平成24年度	9,316	946	10.15%
平成25年度	9,214	949	10.30%
平成26年度	9,142	929	10.16%
平成27年度	9,015	985	10.93%
平成28年度	8,687	1,002	11.53%
平成29年度	8,514	1,022	12.00%
平成30年度	8,266	1,033	12.50%
平成31年度	7,988	1,039	13.01%
平成32年度	7,643	1,032	13.50%
平成33年度	7,393	1,035	14.00%
平成34年度	7,160	1,038	14.50%
平成35年度	6,941	1,041	15.00%
平成36年度	6,733	1,044	15.51%
平成37年度	6,538	1,046	16.00%

5年間で約2%増加

上記実績の伸びを考慮すると、1年間で0.5%増加

(※平成26年度データから、外国人住民を含む)

「推計条件」

・人口は、平成28年度(H29.3.31)までは実績値。平成29年以降は、推計値を使用。(推計値は、人口ビジョン(基準ケース)から引用。)

「推計からみる見直し」

・就学前人口は、少子化により減少している。その一方、保育施設等の新規申込者は増加している。保育ニーズの増加を表す結果となった。

・申込者総数の増加数は、微増であるため「量の見込み」に反映することは不要と判断する。

・新規開園が増えたことによる潜在ニーズの掘り起こしである可能性があることから、平成29年4月1日に5園が新規開園していることから、今年度以降の申込者推移を注視していく必要がある。